

<b>日本パラオ友好橋</b>		<b>Japan-Palau Friendship Bridge</b>	
● 発注者 :	パラオ共和国資源開発庁	● 橋梁形式 :	3径間連続複合エクストラード橋
● 設計者 :	日本工営	● 橋長 × 幅員 :	412.7m × 11.6m
● 施工者 :	鹿島建設	● 着工・竣工年月 :	1999年10月～2001年12月
● 工事場所 :	パラオ共和国コロール・バベルダオ		



■キーワード

- 1996年9月に旧KB橋が崩壊した後に日本政府のODAにて同じ地点に架橋された。
- 主径間が海峡をまたぐPC桁と鋼桁で構成された3径間連続複合エクストラード橋でスパン長247mを誇る
- 架設現場の海峡は水深35m、最大潮流2m/s、最大潮位差1.8mに達する
- 資機材の現地調達ほとんど不可能な条件のもと26ヶ月の短期間で建設された
- 平成14年度 土木学会 田中賞受賞
- 平成14年度 プレストレストコンクリート工学会 作品賞受賞

構造図

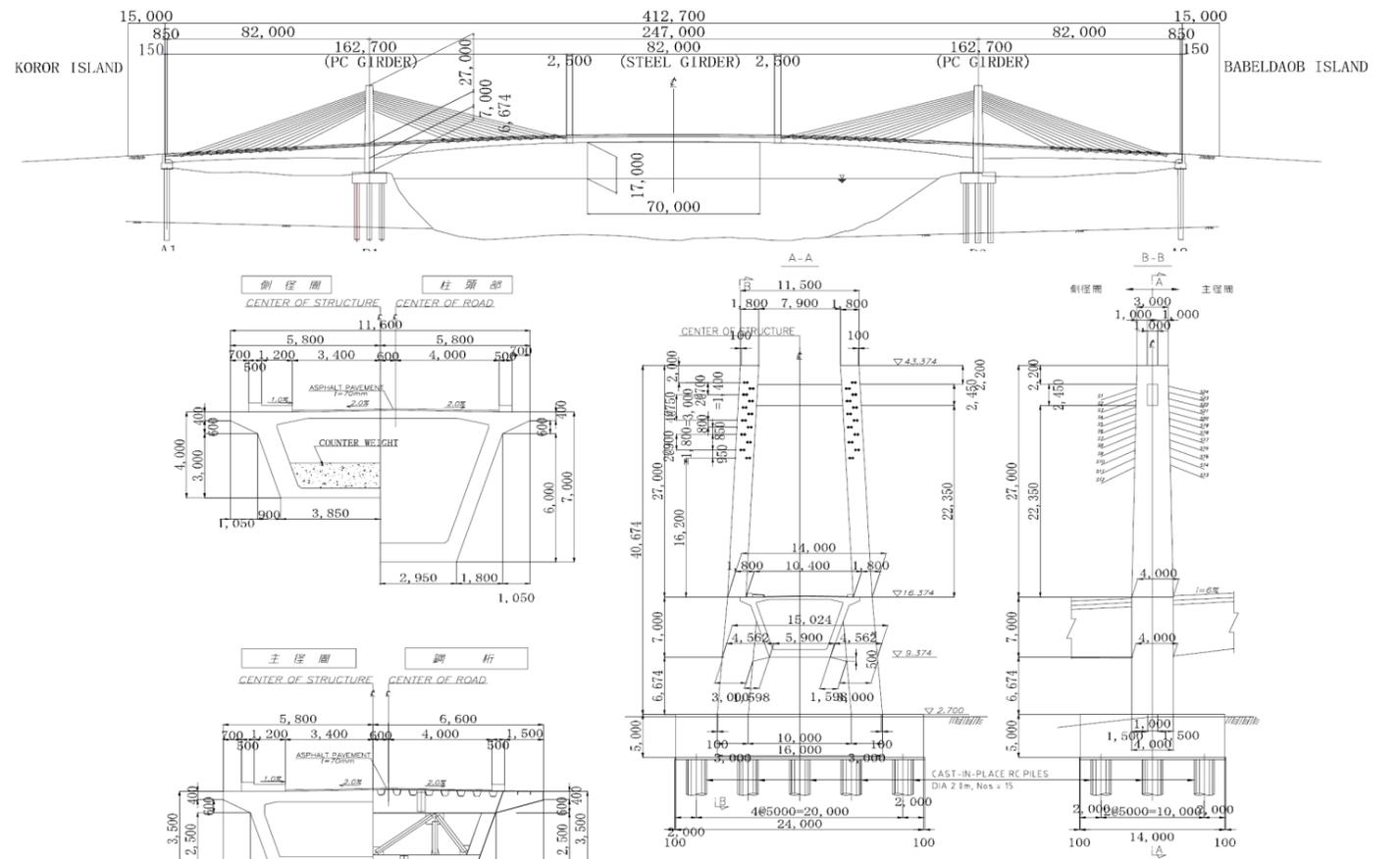


図-1 構造一般図

構造諸元

用途 : 道路橋  
支間割 : 82+247+82m  
P C定着工法 : ディビダーク工法  
架設補助工法 : 鋼桁部 大ブロックの吊り上げ架設

文献等

- 橋梁と基礎 2001年12月号、2002年1月号
- 雑誌「アスファルト合材」2002年7月号
- 海洋開発論文集 18巻 2002年
- 土木学会誌 2002年12月号